

令和6年2月

幸町地区総合整備検討有識者会議

－ 中間とりまとめ －

幸町地区総合整備計画

- ▶ 整備コンセプト
- ▶ 求める機能・新たに追加すべき機能

1	幸町地区の概要	2
2	有識者会議の設置と開催状況	4
3	中間とりまとめ	6
3. 1	幸町地区全体の整備コンセプト	6
3. 2	整備コンセプトを踏まえた機能の検討	7
3. 3	幸町地区に求める機能・新たに追加する機能	8
3. 4	幸町地区に求める機能・新たに追加する機能	9
4	今後の有識者会議のスケジュール	10

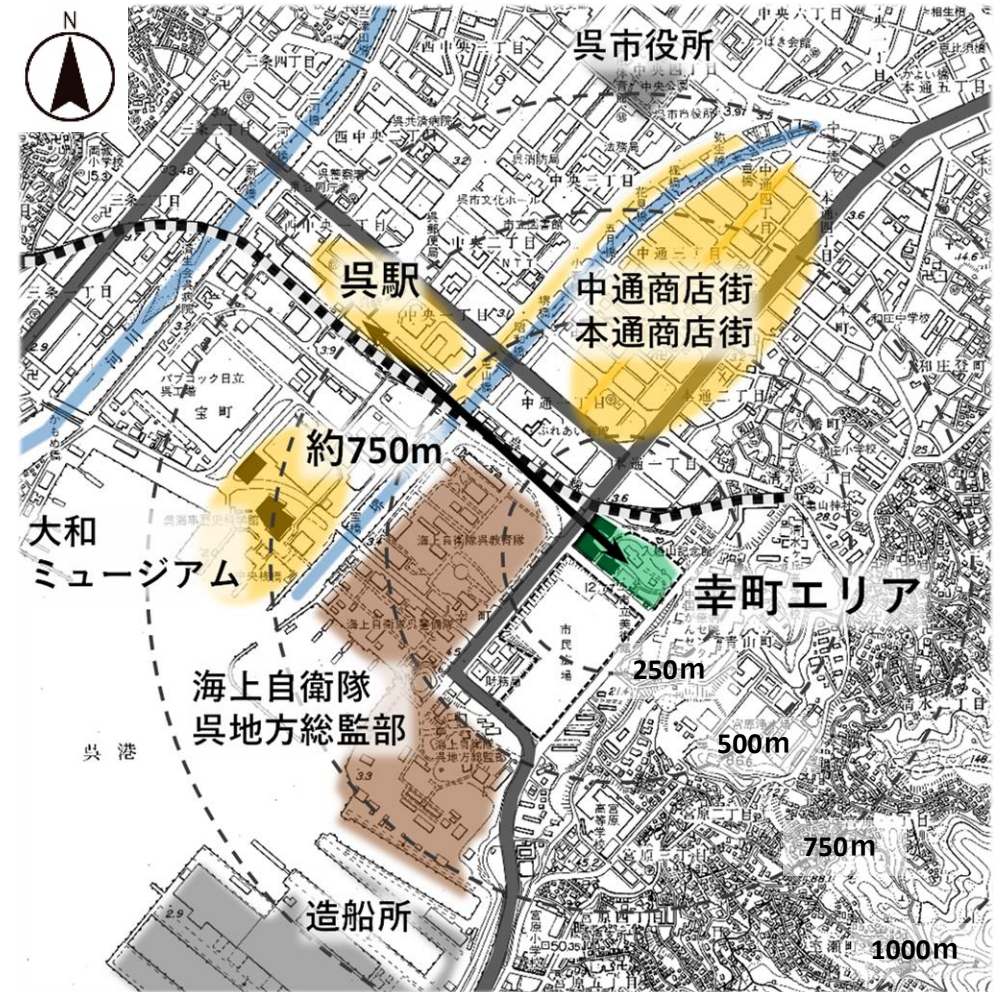
1 幸町地区の概要

☆ 幸町地区の特徴

幸町地区には、旧呉鎮守府司令長官官舎や歴史民俗資料館などがある呉市入船山記念館、呉市立美術館が立地しており、歴史・文化・芸術に触れることができるエリアとして、市民や観光客の方々に親しまれている。

地区内にある桜松館【昭和4(1929)年建設】と青山クラブ【昭和11(1936)年建設】は、平成30(2018)年に呉市が取得して以降、未利用のエリアとなっているが、戦前は海軍下士官兵集会所が置かれ、市民との交流の場として親しまれてきた。また、戦後は、英連邦占領軍の施設となり、海上自衛隊の厚生施設として使用され、呉の歴史とともに歩んできた施設として、様々な物語を生んできた。

また、JR呉駅及び大和ミュージアムや中央棧橋ターミナルなどがある宝町地区、商店が並ぶ中通地区・本通地区、さらには、堺川沿いの公園エリアや海上自衛隊呉地方総監部などとの距離も近く、立地性にも優れた地区である。



幸町エリア（検討エリア）の位置図

1 幸町地区の概要

☆ 幸町地区の各施設の概要

◆旧呉海軍工廠塔時計【大正10年設置】

終戦まで、呉工廠とともに歴史の時を刻む。昭和46年に移設展示、昭和56年に呉市有形文化財指定

◆旧高鳥砲台火薬庫【明治35年建設】

陸軍が建設した高鳥砲台の跡地から昭和42年、移築復元。平成23年、国登録有形文化財に登録

◆旧東郷家住宅離れ【明治23年建築】

呉に在住していた東郷平八郎が、明治23年から住んでいた家の離れ座敷を昭和55年に移築・復元。平成9年、国登録有形文化財に登録

◆郷土館【昭和54年建築】

◆2号館【昭和42年建築】

◆歴史民俗資料館(近世文書館)【昭和61年建築】

旧呉鎮守府司令長官官舎とともに呉市入船山記念館を構成し、呉市立美術館と文化ゾーンを形成。呉市の歴史資料を展示しているが、設備の老朽化や展示資料の分散、収蔵スペース不足等の課題がある。

◆旧呉鎮守府司令長官官舎【明治38年建築】

呉鎮守府開設に伴い、明治22年に建設された軍政会議所兼水交社が、明治38年の大地震によって倒壊し、平屋建てに再建。平成4年から3年を掛け復原修理を実施。平成10年、国重要文化財指定



◆東郷元帥ゆかりのイチョウ

イギリスで日本海軍の軍艦「比叡」が建造された際、日本からイギリス海軍に贈られたイチョウが、「比叡」を日本へ回航した東郷平八郎元帥ゆかりの銀杏として語り継がれ、2020年7月、挿し木で得られた苗木を植樹

◆乙女椿

長者の娘と貧しい漁師の若者との恋が結ばれることを許されず、2人は海に身を投じた。娘のながらが流れ着いた呉浦に、椿が開花し、夜になると光を発し、舟人たちが舟旅の目印にしたとの伝説が残る。現在は2代目

◆美術館 本館【昭和57年建築】

◆美術館 別館【平成5年建築】

本館は展示室や講座室、別館は収蔵庫や喫茶コーナーがある。本館は開館から40年が経過し、設備の老朽化や収蔵機能が別棟となっている等、運用上の課題がある。

◆桜松館【昭和4年建築】

戦前は海軍の講堂、戦後は進駐軍の占領施設となった後、昭和33年より海上自衛隊の厚生施設、昭和55年からは、海上自衛隊呉音楽隊の庁舎として使用された。

◆青山クラブ【昭和11年建築】

戦前は海軍の下士官兵集会所、戦後は英連邦占領軍が司令部を設置。司令部移転後は、「呉ハウス」として使用。昭和33年より海上自衛隊厚生施設となり、喫茶店や宿泊施設等として使用された。

2 有識者会議の設置と開催状況

☆有識者会議の目的

青山クラブ・桜松館 呉市入船山記念館 呉市立美術館が立地し 市民や観光客が 歴史・文化・芸術に親しむことができる幸町の魅力向上を図り、人が集い、賑わいが生まれるエリアにしていくため、幸町地区全体の再整備を検討し、呉市中央地区を中心とした回遊性の向上、地域活性化に繋げていくための方向性についてとりまとめる。

☆有識者会議の役割

- 地区の歴史的な経緯や地区の現状等を踏まえ、幸町地区全体の整備コンセプトを検討
- 地区全体の魅力を高めることにより、多くの観光客が訪れるとともに市民が普段から活動・交流できる賑わいを創出し、市内の回遊性向上に繋がるエリアデザイン案を検討

☆有識者会議委員：11名

建築、都市計画、歴史・文化・芸術分野の学識経験者や、まちづくり活動に取り組まれている市民団体の代表者で構成

氏名	専門分野等	団体・機関・役職
岡 雄大	物販・飲食・宿泊等	株式会社Staple 代表取締役
小野 香澄	まちづくり活動	特定非営利活動法人 S Y L
加茂 義永	自衛隊と市民の交流	海上自衛隊呉地方総監部 管理部長
河崎 圭一郎	まちづくり活動	入船山秋祭り実行委員会
下倉 玲子	建築計画・教育施設	呉工業高等専門学校建築学科 准教授
田中 貴宏	都市計画	広島大学大学院先進理工系科学研究科 教授
戸高 一成	歴史・文化	呉市海事歴史科学館・入船山記念館 館長
福永 治	芸術・文化	京都国立近代美術館 館長
松野 一成	耐震構造	呉工業高等専門学校建築学科 教授
水田 丞	日本近代建築史	広島大学大学院先進理工系科学研究科 准教授
横山 勝彦	芸術・文化	呉市立美術館 館長

2 有識者会議の設置と開催状況

☆有識者会議のスケジュールと開催状況

令和5年度から令和6年度にかけて会議を開催し、地区全体の整備コンセプト及び整備・導入すべき施設・機能、青山クラブ・桜松館の活用方針、地区のエリアデザインを検討し、とりまとめる。

令和5年度

開催日時	検討内容
スタートアップ 【R5.5.10】	・有識者会議の目的とスケジュールの共有 ・幸町地区内の施設視察(フィールドワーク)
第1回会議 【R5.5.31】	・幸町地区の現状と課題の共有 ・地区に必要と考えられる機能について
第2回会議 【R5.8.2】	・整備コンセプトについて ・各施設の在り方について
第3回会議 【R5.9.28】	・整備コンセプトについて ・幸町地区に求める機能、施設について
第4回会議 【R5.11.21】	・整備コンセプトのとりまとめ ・幸町地区に求める機能、施設のとりまとめ
中間とりまとめ	・整備コンセプト ・幸町地区に求める機能・施設
第5回会議 【R6.3(予定)】	・整備コンセプトを踏まえた、 青山クラブ・桜松館の在り方検討

令和6年度

開催日時	検討内容
第6回会議 【R6.4(予定)】	・青山クラブ・桜松館の建物の活用方針、 導入機能の検討
第7回会議 【R6.6(予定)】	・地区内の各施設の在り方、活用方針の検討 ・エリアデザインの検討
第8回会議 【R6.8(予定)】	・エリアデザイン（地区の整備方針、建物の 利活用方針、ゾーニング）のとりまとめ
とりまとめ	・エリアデザイン
第9回会議 【R6.12(予定)】	・最終報告内容の確認
最終報告（とりまとめ成果の公表）	・整備コンセプト ・エリアデザイン ・イメージパース 等

3 中間とりまとめ

3. 1 幸町地区全体の整備コンセプト

呉の歴史と文化を未来へ

～つどう・つながる・感じる・育む～

つどう

- ・市民がつどう
 - ・観光客がつどう
 - ・芸術などの文化がつどう
 - ・サードプレイスのような場所としてつどう
- etc.

感じる

- ・もうひとつの「呉」、ここでしかできないもの・ことを体感する
(まちや人々の歴史・文化などの物語を感じる)
 - ・幸町地区の歴史的経緯を踏まえ、海軍、海上自衛隊を始めとした、海とともに歩んできた呉の歴史に触れる
(平和の大切さを感じる)
- etc.

つながる

- ・未来のこどもたちへつなげる
 - ・市民と観光客がつながる
 - ・仲間どうしがつながる
 - ・呉の物語を未来へつなげる
- etc.

育む

- ・呉の歴史、文化、伝統を学ぶ
 - ・まちへの愛着を育む
 - ・新たな自分を発見し、成長する
 - ・新たなものを生み出し、発信する
- etc.

3 中間とりまとめ

3. 2 整備コンセプトを踏まえた機能の検討

呉の歴史と文化を未来へ

～つどう・つながる・感じる・育む～

整備コンセプト

つどう

市民がつどう

観光客がつどう

芸術などの文化がつどう

サードプレイスのような場所としてつどう

つながる

未来のこどもたちへつなげる

市民と観光客がつながる

仲間どうしがつながる

呉の物語を未来へつなげる

感じる

もうひとつの「呉」
ここでしかできないもの・ことを体感する
(まちや人々の歴史・文化などの物語を感じる)

幸町地区の歴史的経緯を踏まえ、
海軍、海上自衛隊を始めとした、
海とともに歩んできた呉の歴史に触れる
(平和の大切さを感じる)

育む

呉の歴史、文化、伝統を学ぶ

まちへの愛着を育む

新たな自分を発見し、成長する

新たなものを生み出し、発信する

幸町地区に求める機能

呉の歴史を伝え、感じる施設

文化・芸術に親しみ、発信する施設

まちの情報発信・賑わいの拠点

3 中間とりまとめ

3. 3 幸町地区に求める機能・新たに追加する機能

呉の歴史を伝え、感じる施設

〈有識者会議での意見・提案〉

- ◆呉の歴史を伝える出発点
- ◆呉の歴史を継承する場所
- ◆幸町地区が歩んできた物語を生かした施設
- ◆建物の歴史・価値を伝える施設
- ◆「この世界の片隅に」に関連した施設
(当時の市民の生活を感じることができる施設)
- ◆幸町地区の歴史的経緯を踏まえ、海軍・海上自衛隊を始めとした、海とともに歩んできた呉の歴史を通じて、平和を感じる場所
etc.

文化・芸術に親しみ、発信する施設

〈有識者会議での意見・提案〉

- ◆美術館機能（美術館を中心とした文化の拠点）
- ◆スタジオ・ホール機能、ハブ的な機能
(様々な活動に取り組み、発信する場所)
- ◆呉の文化に親しみ、自ら発信できる場所
- ◆講座や自主サークルの活動ができる施設
- ◆文化・芸術に興味を持つきっかけとなる場所
etc.

まちの情報発信・賑わいの拠点

〈有識者会議での意見・提案〉

- ◆まちのコンシェルジュ
- ◆まちのインフォメーション
- ◆まち歩きの出発点
- ◆サイクリストのための結節点
- ◆ものづくりのまちを発信する拠点
- ◆高校生を始めとした若い世代の人たちのための場所
[気軽に来訪できる施設
何かを創造し、生み出すことができる場所
家や学校ではない、もう一つの場所]
- ◆飲食・物販・宿泊機能
etc.

3 中間とりまとめ

3. 4 整備コンセプトと求める機能・新たに追加する機能の整理

		つどう				つながる				感じる		育む			
		市民が つどう	観光客が つどう	芸術などが つどう	サード プレイスの ような場所 として つどう	未来の こどもたち へつなげる	市民と 観光客が つながる	仲間どうし がつながる	呉の物語を 未来へ つなげる	もうひとつ の「呉」、 ここでしか できない もの・こと を体感する	海とともに 歩んできた 呉の歴史に 触れる	呉の歴史、 文化、伝統 を学ぶ	まちへの 愛着を育む	新たな自分 を発見し、 成長する	新たなもの を生み出し、 発信する
呉の歴史を伝え、 感じる施設	呉の歴史を伝える出発点							☆		☆	☆				
	呉の歴史を継承する場所							☆	☆		☆				
	幸町が歩んできた 物語を生かした施設							☆	☆	☆	☆	☆			
	建物の歴史、価値を伝える施設					☆		☆	☆	☆					
	「この世界の片隅に」に 関連した施設							☆	☆	☆	☆				
	海とともに歩んできた呉の歴史 を通じて、平和を感じる場所					☆	☆		☆	☆	☆	☆	☆		
文化・芸術に親しみ、 発信する施設	美術館機能	☆	☆	☆		☆	☆	☆			☆			☆	
	スタジオ・ホール機能、 ハブ的な機能	☆	☆	☆			☆	☆						☆	☆
	呉の文化に親しみ、 自ら発信できる施設			☆	☆					☆	☆	☆	☆	☆	☆
	講座や自主サークルの 活動ができる施設	☆		☆				☆			☆	☆	☆	☆	☆
	文化・芸術に興味を持つ きっかけとなる施設	☆		☆	☆	☆		☆			☆			☆	
まちの情報発信・ 賑わいの拠点	まちのコンシェルジュ	☆	☆		☆		☆					☆	☆		
	まちのインフォメーション	☆	☆				☆								
	まち歩きの出発点		☆				☆								
	サイクリストのための結節点		☆				☆	☆							
	ものづくりのまちを発信する拠点					☆			☆	☆	☆	☆	☆		☆
	高校生をはじめとした 若い世代の人たちのための場所				☆	☆		☆	☆				☆	☆	☆
	飲食・物販・宿泊機能	☆	☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆

4 今後の有識者会議のスケジュール

「整備コンセプト」及び「幸町地区に求める機能・新たに追加する機能」の中間とりまとめを踏まえ、令和6年度にかけて引き続き有識者会議を開催し、幸町地区における施設・機能配置について具体的な検討を進めていく。また、呉市が発注・実施している青山クラブ及び桜松館の建物基礎躯体等調査の結果を基に補強対策案を整理し、建物利活用の実現性について検討する。

これらの検討において決定された成果をとりまとめ、整備のイメージパースや地区内の各施設の整備内容・方法、整備スケジュール、概算事業費などを示した、「幸町地区エリアデザイン」を作成し、呉市へ報告する。

